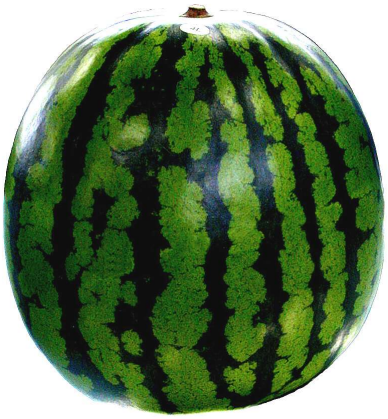
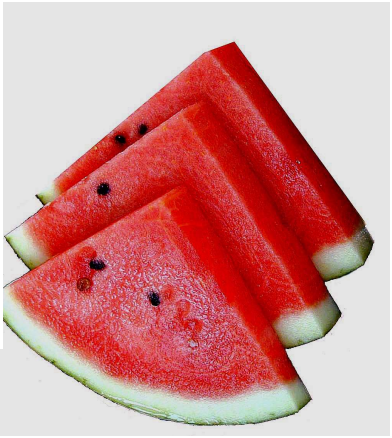
あ き た 夏 丸

（秋田県農業試験場育成　農林水産省品種登録 第15132号）　　200粒詰





（特　長）

1　生育：茎葉の生育が旺盛で草勢は強い。葉が大きく節間はやや詰まる。花粉の出がよく着果は安定している。

2　熟期：糖度の上昇や果肉の発色は早いが、旨味が完成するのは、露地普通栽培で開花後42～45日（積算気温で950℃）以上で「縞無双H」よりやや遅い。二次肥大で空洞が生じにくく、収穫期の幅が長く在圃性は高い。果面の縞模様に沿って生じるへこみが完熟果収穫の目安となる。

3　果実外観：果重は７～８kgと比較的大玉で、果形は正円形～腰高である。外皮は濃緑色、縞は太く鮮明である。

4 果肉：果肉の発色は鮮明な濃朱赤色、皮部との境目がはっきりとしており、カット販売に適している。糖度は11～13度と高く、果肉質は「縞無双H」と同様にめで歯ごたえがある。シャリ味が強いため食感は良い。

5　日持ち性：硬めの肉質であることから、日持ちが良い。（シャリ感が３週間程度持続）

（栽培のポイント）

1　整枝栽培、トンネル移動式栽培、露地普通栽培のいずれにも適する。ただ、普通栽培では品質の揃った果実を生産するために、つる数、着果数を制限する仕立て方法が望ましい。

2　草勢が強めであるため、台木は「ドンK」等の草勢の弱い品種を用いる。

畑10aあたりチッソ成分

	基肥	追肥
整枝栽培	1.0～3.0kg	
移動式栽培	1.5～2.5kg	3.0～4.0kg
普通栽培	3.0～4.0kg	3.0～4.0kg

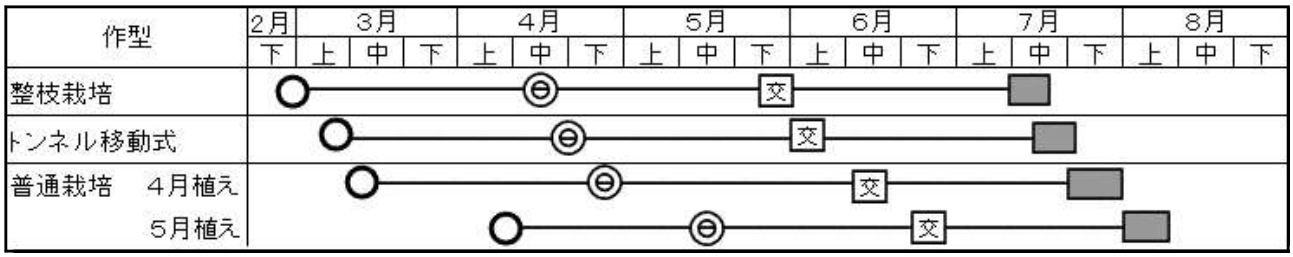
3　草勢を抑えるために、基肥施肥量は慣行品種「必勝」の３～５割減位が適当である。着果後は、つるの伸びが止まるので追肥は慣行と同等とする。

4　ビニールトンネルを使用する場合、換気を十分おこない、厚く切れ込みの多い葉を作るよう心がける。

5　着果節位は18～20節以上の３番花を基本とする。

6　収穫適期の幅が広いため、早どりを避け、十分な熟度を確保してから収穫する。

（栽培暦）



○は種　◎定植　交交配　収穫

生産販売元：公益社団法人秋田県農業公社　農業振興部　種苗センター　℡ 0185-45-2322
品種・栽培に関するお問い合わせ先：秋田県農業試験場　℡ 018-881-3330